

生徒が考える学校活性化・夢事業について

1 事業概要

中学生自らが「今の学校において必要な取組」について話し合い、校内でまとめた改善策に見合う経費を各中学校に予算措置（1中学校あたり70万円を上限）

2 現状と課題

- ①本市は自己肯定感に関する指標が全国平均に比して低く、本市平均よりもさらに低い区内中学校がある。
- ②その他 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均を下回る区内中学校が多い 等

令和6年度全国学力・学習状況調査(質問紙調査)による状況(否定的回答の割合)比較

単位：%

質問項目	全国平均	大阪市平均	区内各中学校
将来の目標や夢を持っていますか	33.2	35.2	A中 36.4 B中 33.8 C中 30
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	4.2	4.7	A中 4.7 B中 5.9 C中 2.2
自分にはよいところがあると思いますか	16.5	18.8	A中 18.8 B中 23.5 C中 7.9

3 課題への対応

中学生自身が考え、話し合い、グループ間で競い合うことで、次の相乗効果を見込む

- ・「自ら考えた改善策」実現のためのアイデア出し・協働力・プレゼンテーション力
- ・生徒案が実現することによる自己肯定感・モチベーション・愛校心の向上

(運動関係の提案が出てきた場合は、体力向上への取組の改善にもつながると期待)

生徒の声を直接区政に反映・・・将来、西区で活躍する担い手の養成につなげる